

★ 木造化ファイルNo.163（小山町立須走小学校・多目的教室）

地元ヒノキ材を活用したハイブリット工法で

1) 施設名（用途）	小山町立須走小学校・多目的教室（学校等施設）
2) 所在地	駿東郡小山町須走 63-14
3) 事業実施主体	小山町（担当部局 こども育成課）
4) 設計者	久保剛司建築研究室（掛川市）
5) 施工者	臼幸産業株式会社（小山町）
6) 工期	平成 26 年 11 月～平成 27 年 3 月
7) 施設概要	木造平屋立て在来工法、小屋組（木+鉄鋼のハイブリット工法）
8) 規模（延面積）	147.40㎡
9) 主な使用樹種	地元ヒノキ、スギ
10) 施設の特徴等	既存特別教室の改修にあたり、一般的建築の 2 教室分の計画がなされていた。小山町からは、地元富士ヒノキ等の新たな活用も含めて、興味ある提案をとの要望があった。これを受け、ハイブリットの合成梁提案を提案し、そのまま受け入れられ建設の運びとなった。施設内部は、小屋まであらわしとした大きな空間と杉板の腰壁が、子どもたちに木の良さを実感してもらえる仕上げとなった。コストはおよそ 50 万円/坪で、関係者知恵を結集し、最後は施工者の心意気でまとめられた。

【施設の画像】（左上から時計回り）①外観（屋根外壁がガルバリウム鋼板小波張り）、②内部（間仕切り欄間と合成梁）、③内部（間仕切引き込み戸収納で大空間へ天井化粧 PB 壁クロス、杉板 床桜系複合板）、④内部（西側収納壁+ホワイトボード+流し収納 2 部屋オープン状態）

